

製品名: PSMA4 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02490**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.67mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 29 kDa; Observed MW: 29 kDa

抗原情報

遺伝子名	PSMA4
別名	proteasome subunit alpha 4; HC9; PSC9; HsT17706
遺伝子 ID	5685
SwissProt ID	P25789
免疫原	ヒト PSMA4 の合成ペプチド

背景

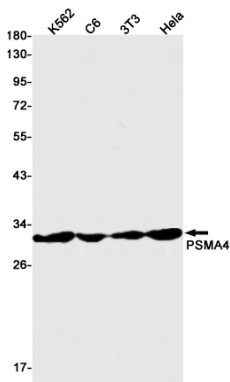
ほとんどの細胞内タンパク質のタンパク質分解に関与する 20S コアプロテアソーム複合体の構成要素です。この複合体は、さまざま

な調節粒子と会合することで、細胞内で数多くの重要な役割を果たします。2つの19S調節粒子と会合して26Sプロテアソームを形成し、ユビキチン化されたタンパク質のATP依存性分解に関与します。26Sプロテアソームは、細胞機能を損なう可能性のある誤って折り置かれたタンパク質や損傷したタンパク質を除去し、機能が不要になったタンパク質を除去することで、タンパク質の恒常性の維持に重要な役割を果たします。PA200またはPA28と会合した20Sプロテアソームは、ユビキチン非依存性のタンパク質分解を媒介します。このタイプのタンパク質分解は、精子形成(20S-PA200複合体)やMHCクラスI提示抗原ペプチドのサブセットの生成(20S-PA28複合体)など、いくつかの経路で必要です。

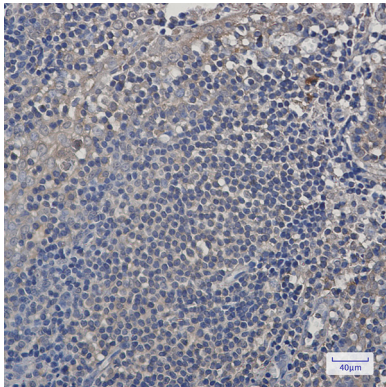
研究分野

細胞生物学

画像データ



PSMA4抗体を使用したK562、C6、3T3、Hela溶解物中のPSMA4のウエスタンブロット分析。



PSMA4抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。